

第84回
アカデミー賞
衣裳デザイン賞
ノミネート

第69回
ゴールデン・グローブ賞
主題歌賞
受賞

世界を敵にまわしても、
あなたさえいれば、生きていける――

マドンナ 監督作品

ウオリスとエドワード

英国王冠をかけた恋

SEMTEX FILMS presents in association with IM GLOBAL "W.E." ARBIE COHEN'S ANDREA KRISZBOROUGH JAMES D'ARCY AND OSCAR ISAC RICHARD COLE DAVID HARBOUR
executive producers LUCINDA PYSOW & BLAINE BRANIGLE script by ABEL KOZENKOWSKI story by ABEL KOZENKOWSKI JENNY SHROOPE director of photography ADRIAN PHILLIPS editor DANNY R. TULL production designer MARTIN CHILDS executive producer HAGEN BOGDANSKI
executive producer EOLIN VAINEY SARA ZAMBRENO executive producer SCOTT FRANKLIN DONNA GIGLIOTTI HARVEY WEINSTEIN producer MADDONNA KRIS THYKIER writer MADDONNA & ALEX KUSHNIRAN director MADDONNA

Centex girls

IMC

PHILIP

NEAR

www.we-movie.net

20世紀最大のスキャンダルの真実、解禁。

信じられないほど美しい

— LOS Angels times

豪華絢爛で魅惑的

— Grazia

今年の映画の中で最も美しい作品。

— Dairy mail

無垢な情熱と匠の技が織りなす

革命的な映像美

— INDIPENDENT

マドンナ×英国王室

Story

1998年、ニューヨーク。一流分析医の夫と、誰もが羨む暮らしを送るウォリーには、人知れぬ悩みがあった。ウォリーは妊娠を望むも夫は非協力的な態度であるばかりか、毎夜仕事を理由に家を空けている。やり場のない気持ちをかかえていたウォリーは、ある日、“王冠をかけた恋”で知られる英国王エドワード8世とその妻ウォリス・シンプソンの遺品オークション展覧会を訪れる。そこでウォリーは2人の愛の結晶ともいえる数々の芸術品に魅了され、国王の心をつかんだアメリカ人女性ウォリスの愛の物語に心惹かれていく。しかし、世紀の恋を生き、すべてを手に入れたと思われていたウォリスにも、知られざる苦悩があった——

「愛する人の支えなくしては、王としての責務を全うすることはできない」——エドワード8世

1936年12月11日、英国王エドワード8世は、ラジオを通して英国国民に対し退位声明を発表した。離婚歴のあるアメリカ人女性ウォリス・シンプソン夫人との禁断の恋。王室、首相から「王冠をとるか、愛をとるか」と迫られたエドワード8世は、自らの王位を捨てウォリスとの結婚を選じた。アカデミー賞®受賞作「英国王のスピーチ」の劇中で、王位を放棄し弟のヨーク公（ジョージ6世）へと譲位した兄、その人こそエドワード8世である。

世紀のスクandalから、世紀のロマンスへ——今、明かされる“王冠をかけた恋”の真実。

愛する女性のために王位を捨てた国王の話として知られる「王冠をかけた恋」、しかし、国王に王位を捨てさせた女として世界中から非難を浴びた女性ウォリス・シンプソンの素顔はあまり知られていない。本作ではこれまで語られることのなかった、王族に恋をしたひとりの女性の物語をマドンナが長年の構想、脚本執筆に2年の歳月を費やし映画化。時を経て、世紀のスクandalから、世紀のロマンスとしてかたちを変え語り継がれるこの物語は、豪華絢爛な衣装と美術、歴史的宝飾品をはじめ革命的とまで言わしめた映像美に彩られ、世紀の恋を生きたウォリスの素顔を鮮やかに映し出す——。

1国の王が1人の女のために王位を放棄することを決めた。彼女は彼にその選択をさせるだけの何を持っていたのか？そして彼と共に生きることによって彼女が払った犠牲とは？そこに浮かび上がるのは、愛に寄り添い強く生き抜いた女性の姿。人を愛することで生じる痛み、葛藤、そして喜び——胸をしめつけられるほどの思いは、国や立場、時代が違っても変わらない。全世界を敵にまわしても、真実の愛を貫いたウォリスの姿は、現代を生きる女性に、真の幸福の在り方を教えてくれる。



出演：アビー・コーニッシュ、アンドレア・ライズブロー、ジェームズ・ダーシー、オスカー・アイザック

監督：マドンナ 脚本：マドンナ アレック・ケシアン 撮影：ハーゲン・ボグダンスキー 衣装デザイン：アリアンタ・フィリップス 音楽：アベル・コジェニオウスキ

© 2011 W.E. COMMISSIONING COMPANY LIMITED. ALL RIGHTS RESERVED. 2011年 | イギリス | カラー・モノクロ | シネマスコープ | ドルビーSRD | 119分

原題：W.E. 字幕翻訳：古田由紀子 エンディング曲対訳：湯山恵子 配給：クロックワークス



@we_movie



www.facebook.com/we1103

11/3(土・祝) 真実、解禁!

特別鑑賞券 ¥1,500(税込) 絶賛発売中! [当日一般¥1,800のところ ※一部劇場を除く]

新宿三丁目駅 C4出口前マイアネックス9F

新宿バルト9

03-5369-4955 wald9.com 全席指定・定員入替制

日比谷・東宝映画街

TOHOシネマズ シャンテ

03-3591-1511 www.tohotheater.jp 全席指定